

認定など41議案を審議

政策を！

- 9月2日～3日(本会議)
市長による提案説明、総括質疑(6人)
 - 9月4日～16日(委員会)
4常任委員会
 - 9月17日～24日(本会議)
一般質問(27人)
 - 9月28日(本会議)
討論(5人)、採決(41件)
- 議案と審議結果については9ページをご覧ください

今定例会では、公明党、創風、市民クラブ、日本共産党議員団、輝、みらいが総括質疑を行いました。

市長の提案説明 令和元年度の事業成果

- ◆第6次総合計画に定める三つの重点戦略
- ①「暮らし」の戦略
地域における相談支援体制の強化、子育て環境の充実、地場産品を活用した集落活性化ほか
- ②「産業」の戦略
上越ならではの産品づくり、市内企業の販路拡大・海外展開の後押し、市内企業への就労促進ほか
- ③「交流」の戦略
観光地域づくりセミナー実施、水族博物館うみがたりの魅力向上とブランド化各種コンベンションの更なる誘致への取組ほか
- ◆まち・ひと・しごと創生総合戦略
雪室食材等を利用した特産品開発とPR、街の魅力をかきたした特色ある地域づくり、移住・定住につなげるための魅力発信・相談支援ほか

7月臨時会総括質疑

7月臨時会は、7月29日に開催され、令和2年度上越市一般会計補正予算など3議案を審議しました。

また、公明党、日本共産党議員団、会派に属さない議員（宮越馨議員）が総括質疑を行いました。



メイド・イン上越認証品も対象

上越産品の販売促進で 農林水産業の活性化を

💡 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、需要が低迷する上越産農産物等の販売を促進するとともに、上越産品に特化したインターネットショッピングモールを活用した販売拡大の取組を支援するための経費が増額されました。

※関連記事7ページ

問／上越産品に特化したインターネットショッピングモールは、主にごどのような特産品の販売を想定しているのか。また、今後の販売拡大に向けて、どのような効果を狙っているのか。

答／既に需要が低迷している牛肉などの農畜産物や今後の動向が懸念される米や枝豆のほか、農産加工品、メイド・イン上越認証品等、農業者等が新たに販路を開拓していく取組に併せ、当市が誇る上越産品のPRと販売促進の取組を推進する。新たな消費スタイルに対応した販売の拡大と自らの価格決定に伴う農業者等の所得向上を図っていくことはもちろん、上越産品の知名度とブランド力の向上にも寄与するものと期待している。